



森林ボランティア 「オホーツクの会」だより No.13

新年のご挨拶



会長 鞘師 守 (さやし まもる)

新年、明けましておめでとうございます。私達の「オホーツクの会」も、多くの方々・機関に支えられながら、3回目の正月を迎えることができました。この場をお借りし、お世話になりました皆様方に心より御礼を申し上げます。

昨年私たちは、森に親しむ活動、森づくりの手助け、森の育て方の勉強など、これまでに充実させてきた活動をしっかりと実行することができました。また、皆様からいただいたアンケートや情報交換の結果を基に、次世代を担う地域の子供達に森に親しんでもらう念願の活動を始めることもできました。会にとって昨年は、継続から発展に向かう歩みを確信した年になったと振り返っています。

今年も、会員の皆様に積極的なご協力をお願いしながら新たなことにも取り組み、引き続き会と会の活動を発展させて行こうと考えています。

楽しみながら、森を学び、森をつくり、私達の仲間の輪を広げていきましょう。本年もよろしくお願い申し上げます。

“新春挨拶”

常呂川森林環境保全ふれあいセンター
所長 藤生 浩史



平成23年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

貴会の森林をフィールドとしたこれまでの活動は、当センターとして大変心強く感じているとともに感謝の気持ちでいっぱいであり、今年においても、引き続き、共に心地よい汗を自然の中で流すことができればと思います。



2011・国際森林年

本年は国連による「国際森林年」として、「Forests for People (人々のための森林)」をテーマに人類の生存に欠かせない森林の多面的機能を称える重要な年であります。そういった意味で一つの発展期でもあり、貴会と当センターとの固いつながりを基礎とし、地域が一体となった森林づくりがより一層推進できればと考えております。

貴会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝・ご多幸を心よりお祈り申し上げます。

「オホーツクの森づくり」で森林整備を実施!!



平成22年9月18日（土）、オホーツクの森（自然再生モデル林、古の森）において、12名（会員7名、一般参加1名、協議会メンバー4名）が参加し開催されました。

当日、小雨模様の中、自然再生モデル林にカミネッコン植樹した周囲の草刈りを実施、作業終了後にモデル林内の森林散策をして、今年豊作のドングリを拾いながら現況を認識しました。

午後からは、「古の森」にある遊歩道の草刈りを実施してもらい、1日汗を流しての整備となりました。

どうもお疲れ様でした。



「ボランティアに参加して」

昨年は、オホーツクの森をご案内頂きありがとうございました。

私の生家は、常呂川河口のすぐ脇にあり、その様子を毎日のように眺めながら育ちました。

川の向こう岸は、縄文人が何千年もの間住んでいた遺跡が散在している場所でもあります。森・川・海、全ての恵みが人間を育ててくれた所です。



そこには太古も同様にそれぞれの人生があり、オホーツクの自然は、衣食住だけでなく、今と同様にその森羅万象の美しさをもって現し、感動を与えてくれていたことでしょう。

現在よりさらに厳しい北国の生活環境の中で、彼らは、ずっと身近ですばらしかったであろう自然の姿に癒され、それを生きる勇気や糧として暮らしていたのだろうと想像します。

未来永劫にこの自然の営みが絶えることの無きよう、見守りながら楽しみながら、わずかでもお手伝いできればと思います。



松平 康



○ 木々の冬越し

参考: 森の100不思議ほか



樹木は寒い冬を越すために、細胞内でデンプン質を分解して糖をつくり、中性脂質をリン脂質に転換するなど細胞液の濃度を濃くして、凍りにくくしています。

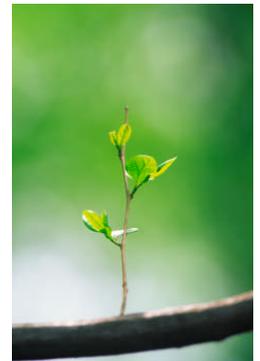
— 落葉樹はエコ生活? —

晩秋に地温が下がると、根からの吸水量が急速に減少するため、葉を落として蒸散を抑え、共に翌春の芽吹きのエネルギーを蓄えます。

芽吹きのエネルギー

落葉する前に葉から回収した炭素や窒素をタンパク質(樹皮貯蔵タンパク質)に変換し、内樹皮に貯え、春に芽吹く葉や花をつくるエネルギー源として利用されます。

(但し: マメ科やハンノキ属の樹木では、落葉前にほとんど窒素を回収せず、青々とした葉を落とす=土地の肥料となる)



— 針葉樹は寒冷地対応生活? —

針葉樹は葉が細くなっているため、乾燥や凍結から身を守る働きが優れているといわれています。(トドマツの葉: 耐寒温度 マイナス70℃)

いろいろな冬芽

うろこ がりん (芽鱗)	“うろこ”がない らが (裸芽)	“毛” おお で覆われている	ベタベタ
ミズナラ	オニグルミ	キタコブシ	ナナカマド

「国際森林年」国内テーマ

『森を歩く』

～未来に向かって日本の森を活かそう～
－森林・林業再生元年－



2011・国際森林年

2011年(平成23年)は、国連が定めた国際森林年(the International Year of Forests)です。世界中の森林の持続的可能な経営・保全の重要性に対する認識を高めることを目的としています。

国内テーマには、国民の皆さんに、森林への理解を深める入口としていただくとともに、暮らしの中に森林や木材を取り入れていただけるようにとの期待が込められています。

お知らせ

○ 「冬山研修(自然観察会)」への参加者募集!

スノーシューを履いて冬の森林を歩きませんか!!

- 冬の自然観察会(3月12日(土))に参加希望の方は、2月17日(木)までに別紙「冬山研修(自然観察会)」の参加者募集のご案内を見て申し込んで下さい。

※ ふれあいセンターへは、会員の皆様でお気軽にお立ち寄り下さい!!

○ 会費の納入について

平成22年度会費納入されていない方は、下記「会費納入方法」により納入をお願いします。納入状況を確認される方は、事務局までお電話にてお願いします。

【会費納入方法】

1. 納入をされる方は、年会費1,000円(一人又は一家族)の納入を、①②のいずれかの方法でお願いします。
 - ① 事務局に来局して納入する。
注) 来局される場合は、不在の場合もありますので、事前に電話連絡をお願いします。
 - ② 会の口座に振り込む。
振込先口座: 郵便局 19960-8073231
森林ボランティア「オホーツクの会」
注) 郵便局の口座を持っている方が、郵便局のATMを使って、会の口座に振り込む場合の手数料は無料(無料サービス実施期間中)ですが、それ以外の場合は手数料がかかります。
2. 冬山研修(自然観察会)(3/12(土))参加の方は、参加当日に、年会費1,000円(一人又は一家族)の納入をお願いします。

お問い合わせ

会費納入のお願い

会では、22年度会費を集めています。
1家族1,000円です。
よろしくお願いします。

北海道森林管理局
常呂川森林環境保全ふれあいセンター内

森林ボランティア「オホーツクの会」事務局

〒090-0035 北海道北見市北斗町3丁目11-3

TEL 0157-23-2960

050-3160-6321

FAX 0157-23-2472

平日8:30~12:00 13:00~17:15